

サ ク

～2009年春、満開のサクラのもとで卒業しよう～

第40号
2009. 01. 28

社会科「死刑制度を考える」 1

社会科における公民的分野の学習では、政治学習が大きな柱の1つとなっています。日本における三権分立や地方自治のシステムなどが主な学習内容です。しかし、そのような政治システムを知識として獲得するだけでは不十分だと私は思います。この国の未来を担う中学生には、現代社会に存在する課題について、自分なりの考えを持つこと、そしてそれを伝え合い、自分の考えを修正しながらさらに再構築させていくことが大切なのではないかと考えています。そのような意味においても私たち大人にも結論が出せていないような社会的な論争問題は格好の教材といえます。

社会的な論争問題といってもさまざまなものがありますが、今回は司法権の学習に合わせて「死刑制度」の是非について考えました。日本における刑罰の中で最高刑にあたるのがもちろん死刑、次いで無期懲役となります。しかしながら無期懲役といわれる刑罰は、10 数年での仮釈放が認められているとも言われていて、死刑とのギャップの大きさを指摘する声も多く聞かれます。ちなみに日本には終身刑はありません。また死刑廃止は国際的な潮流でもあり、特にヨーロッパではEU加盟の条件の1つとして、死刑制度の廃止をあげています。

これらのことをふまえながら、生徒たちは死刑制度について考えました。犯罪被害者の感情や加害者の更正のあり方、冤罪の危険性など、考えなければならない難しい課題が多く存在する中、「死刑制度」についてしっかりとみつめていました。授業の中では、1999 年に山口県光市で 18 歳になったばかりの元少年がおこした母子殺害事件についても取り上げました。被害者遺族の本村洋さんがこの元少年に対して、強く死刑を求めている様子を VTR で視聴したほか、以前私が彼からいただいたメールの一部を紹介しました。この事件については、昨年4月に広島高裁が死刑判決を出しましたが、加害者の弁護側は即日上告しているために、裁判はまだ確定していません。



山陰中央新報（2008. 4. 23）

◆ 2月の行事予定 ◆

- 3日（火） 益田東高校入試
ALT、栄養教諭来校
- 5日（木） スキー遠足
- 12日（木） 入学説明会
- 13日（金） 箏指導
- 18日（水） テーマ討論
SC 来校
- 24日（火） ALT 来校
- 25日（水） 防犯教室
- 27日（金） 学年末テスト
(～3月3日)